



## [ダイ die]

鑄物屋にとってダイカストのダイは型ですが、もともとは運命というようなラテン語源から die は(1)サイコロ, および(2)サイコロあそび, を意味したことで、さらにその形から(3)四角いもの(さいの目に切った野菜など)をも die というようになりました。たとえば「The die is cast.」は「サイは投げられた」だし、「as straight as a die」は「四角四面」のことになります。この die の複数形は dice で、いまではサイコロは dice とよぶのがふつうになり、die という元の言葉のほうはほとんど忘れられて単数でさえ one die というように変化しました。

ところが一方、金属を鑄造、鍛造などで加工するための型もサイコロのように四角であったことから die とよぶようになりました(具体的には何のためのどんな型をさしたのか、よくわからない)。ところがこれの複数は dice でなくて dies です。

線引き用の die などには四角ではなく、むしろ丸に近い形になっていますが、それでも die です。これを日本ではなぜかダイスと複数形で呼ぶ習慣になっているようです。

日本のダイカスト関係者は型のことを金型とよぶことが多く、ダイとかダイス、あるいは鑄型とか mold という言葉もあまり使わないようです。逆に砂型はもちろん die ではなくて、mould, mold であり、日本語でもふつう鑄型といえば砂型をさすことが多いようです。

なお「die=死ぬ」は発音もつづりも同じですが、「die=型, さいころ」とはまったく別の言葉です。